

事前評価個表

整理番号	7
------	---

地域（地区）名	やみぞたが 八溝多賀	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	茨城県	対象市町村	ひたちし 日立市ほか5市町
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県北部に位置し、東は太平洋、西は栃木県、南は水戸那珂地域森林計画区、北は福島県に接する地域で、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町の5市1町を包括している。山地の土壌は、適潤性の褐色森林土壌が広く分布しており、スギ・ヒノキの優良な人工造林地帯となっている。</p> <p>本地区は、林野率が69%と県平均の32%を大きく上回っており、本県の林業の中心的地域であり、スギ・ヒノキ等の人工林は主伐期を迎える林分が人工林面積の80%を占める一方、下刈りや除伐等の保育や間伐等が必要な森林も存在している。</p> <p>このため本地区では、利用期を迎えた森林において、主伐及び利用間伐といった森林資源の循環利用を促進しつつ、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、主伐後の再造林とあわせて保育や間伐等の適確な森林施業が必要となっている。これら森林施業の担い手として、本地区には5つの森林組合のほか多くの民間林業事業体が活動しており、高性能林業機械の導入や新規就労者の雇用を積極的に行っている。このように本地区は、充実した森林資源と意欲ある林業経営体に恵まれた地域であり、本県の林業の先駆的地域として、森林施業の集約化・機械化を進め、木材生産コストの低減を図りつつ、森林資源の循環利用と健全な森林の育成を推進していく必要がある。</p> <p>本事業は、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、八溝多賀地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき効率的な造林や保育、間伐等の森林整備を実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,000 ha</p> <p>人工造林、下刈り、保育間伐、間伐等</p> <p>総事業費：2,027,190 千円（税抜き 1,842,900 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=2.35</p> <p>（総便益（B）=6,799,401 千円、総費用（C）=2,889,899 千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 本地区の保育対象林分の賦存状況及び主伐後の再造林の緊急性等を鑑み、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、適正な造林や保育、間伐等の森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的かつ適確な森林整備を実施することとしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況を踏まえた計画的な事業の実施により健全な森林が育成され、森林の有する公益的機能の維持増進はもとより、将来にわたっての優良材の安定供給が期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	---

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

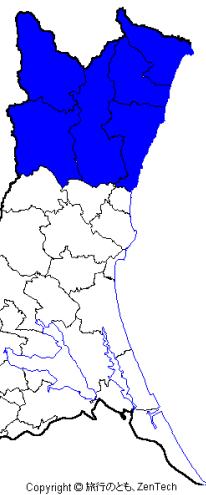
都道府県名：茨城県

地域(地区)名：八溝多賀

(単位：千円)

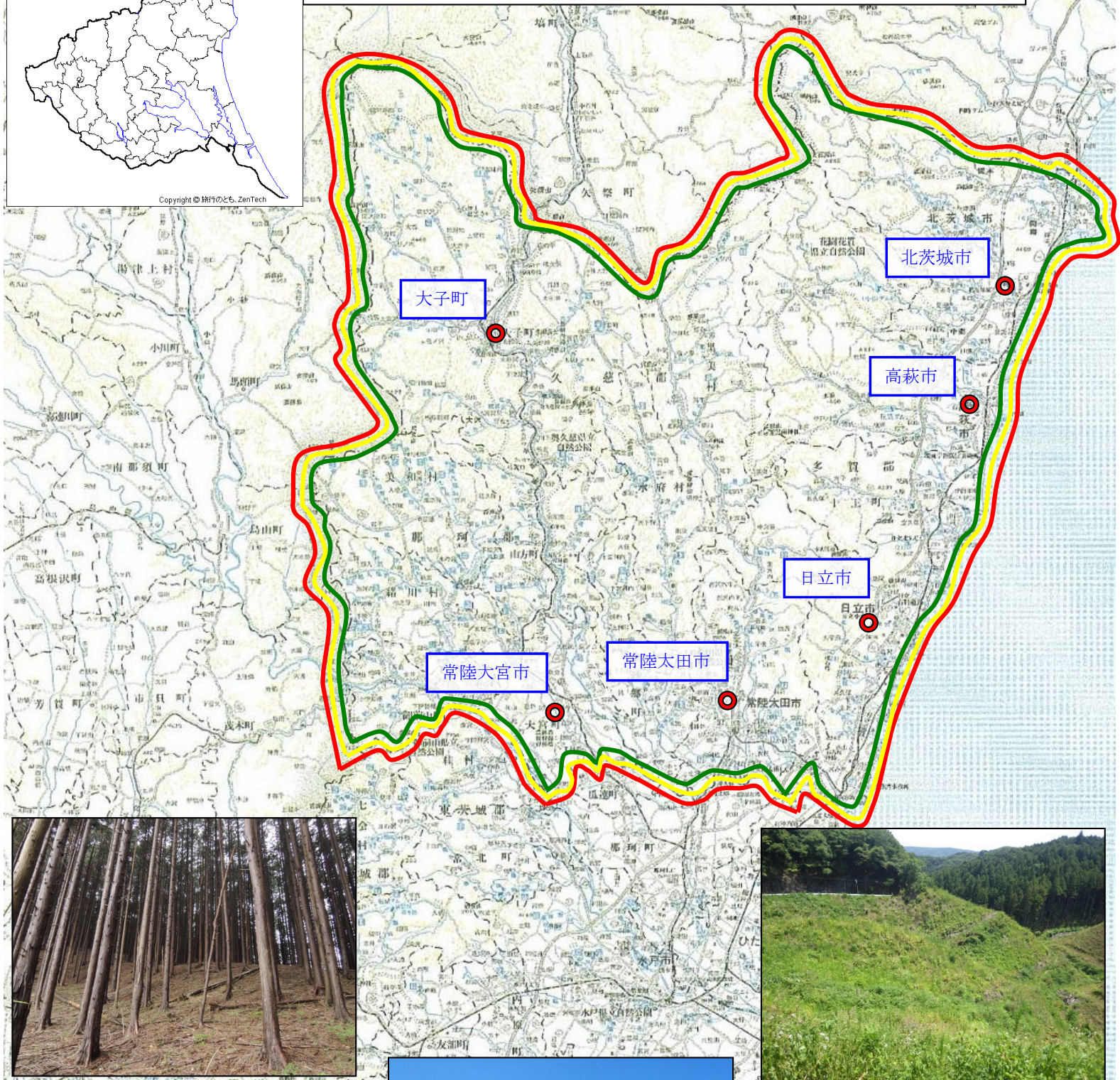
大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,735,017	
	流域貯水便益	394,600	
	水質浄化便益	1,541,029	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,680,107	
環境保全便益	炭素固定便益	488,028	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	960,620	
総 便 益 (B)		6,799,401	
総 費 用 (C)		2,889,899	
費用便益比	$B \div C = \frac{6,799,401}{2,889,899} = 2.35$		

茨城県



Copyright © 旅行のとも、ZenTech

森林環境保全整備事業 八溝多賀地域（茨城県）概要図



大子町

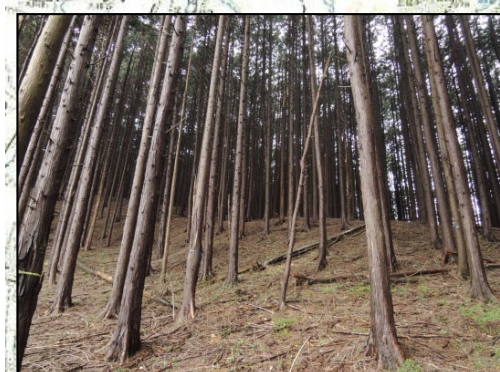
北茨城市

高萩市

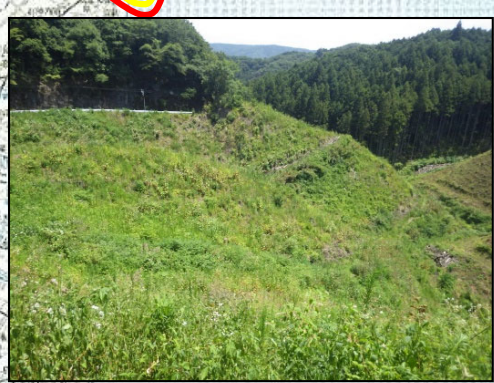
日立市

常陸大宮市

常陸太田市



整備前の状況



整備前の状況



整備前の状況

凡	例
計画区界	
事業区域	
森林整備	
市町役場所在地	